

型 番 XH90218L・XH90219L

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

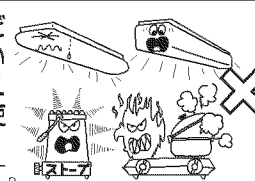
保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。		器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
禁止	傾斜天井 壁面 不安定な場所 補強のない場所	アース工事	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

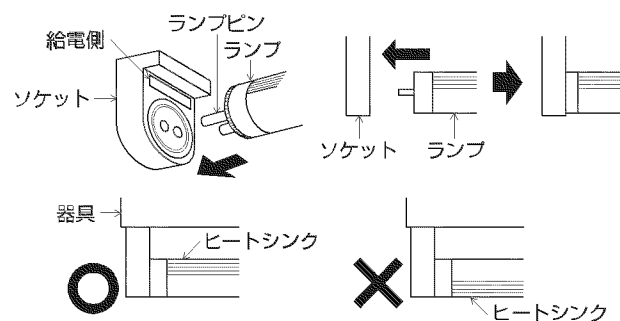
⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
🚫 接触禁止	🚫 水ぬれ禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
		この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
⊘ 禁止	！ 厳守	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	表示された電源電圧(AC100V～AC240V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
			

5 ランプ(別売)を取付ける

ランプのヒートシンクが器具気に向くようにランプピンをソケットに確実に差し込み、押しあてて取付ける。

※このランプには電源接続ピン(端子)と非電源接続ピン(端子)があります。ソケットのシールとランプの表示を目印に向きを合わせてください。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



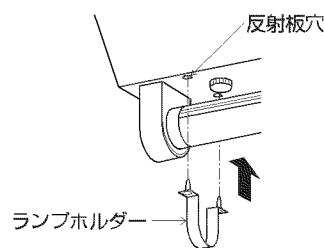
6 点灯の確認を行なう

7 ランプホルダーを取付ける

ランプホルダーの先端を反射板の穴に押し込んでください。

※押し込みが不十分な場合、ランプホルダーの落下原因になります。

※ランプホルダー取付け後にランプの取外しはできません。



！

器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 多灯用器具は間引き点灯できません。

■ランプ使用上のご注意

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- ランプを取外す場合には、コイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

保証とアフターサービスについて

保証について

- この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意事項に従った使用状態で保証期間中に故障した場合には無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
XH90218L	AC100V～AC240V	0.49A-0.25A	48.6W	XE37125L 昼白色(5000K)×2
				XE37126L 白 色(4000K)×2
				XE37127L 温白色(3500K)×2
				XE39074L 昼白色(5000K)×2
				XE39075L 白 色(4000K)×2
				XE39076L 温白色(3500K)×2
XH90219L		0.25A-0.13A	24.9W	XE37125L 昼白色(5000K)×1
				XE37126L 白 色(4000K)×1
				XE37127L 温白色(3500K)×1
				XE39074L 昼白色(5000K)×1
				XE39075L 白 色(4000K)×1
				XE39076L 温白色(3500K)×1

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。
木ネジは丸木ネジの呼び4.1以上を使用する。

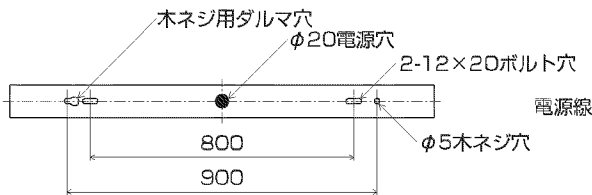
2 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

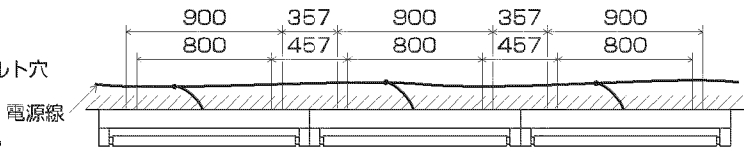
3 取付ピッチ

下図の＜単体の場合＞は器具を取付面から見た図です。また、＜連結の場合＞は側面から見た図です。

＜単体の場合＞



＜連結の場合＞

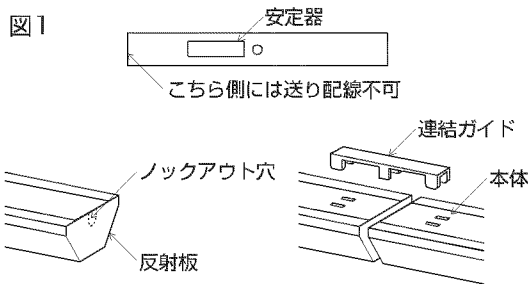


4 器具を連結する場合

- 出線・送り配線は、天井裏配線をおすすめします。
 - 器具内の送り配線をされる場合は、安定器を内蔵している側には送らないでください(図1)。
- 安定器の熱により、電線が過熱し感電、火災の原因となります。

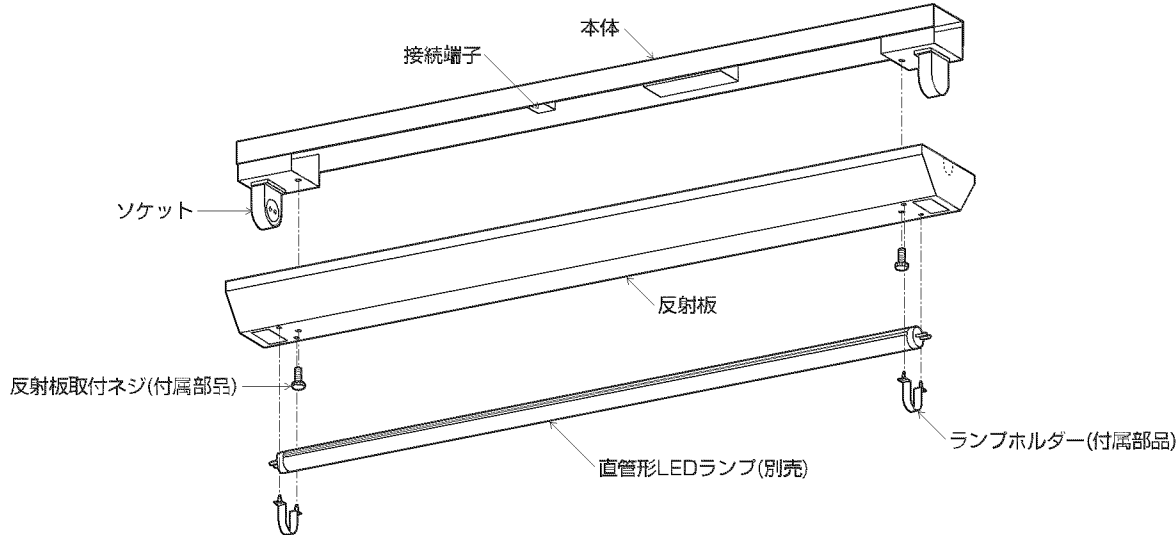
- ①連結する側のノックアウト穴をあける。
- ②本体に付属の連結ガイドを取付けてから本体を取付ける。

図1



■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

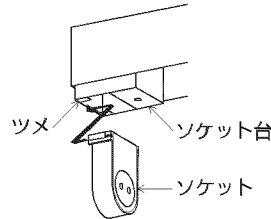


＜付属部品＞

- 連結ガイド・・・1個
- 反射板取付ネジ・・・2本(XH90219Lの場合)
4本(XH90218Lの場合)
- ランプホルダー・・・2個(XH90219Lの場合)
4個(XH90218Lの場合)

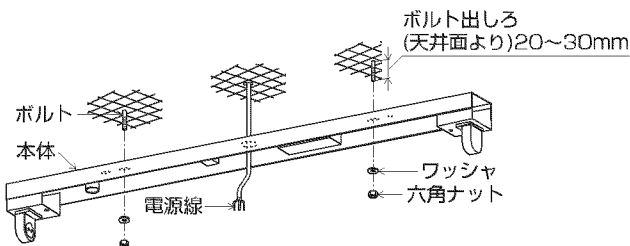
1 ソケットを取付ける

ソケットをソケット台のツメに取付ける。



2 本体を取付ける

本体に電源線を通し、ボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)、または木ネジ(市販品)で確実に取付ける。

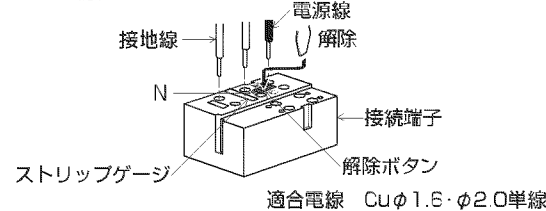


3 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(接続端子の定格容量は20A)はずす時は解除ボタンをマイナスドライバーで押し、出線線を抜く。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続は確実にこなってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災の原因になります。



4 反射板を取付ける

反射板を本体に合わせ、反射板取付ネジで取付ける。

